

金融引き締め 政策をとる上で、日銀による国債売りオペは財政負担を重くしないレベルにとどめ、主に 銀行の預金準備率を引き上げることで対処します。他方で、景気が悪化したときには主に日銀の緩和マネーで、ひとびとへの貨幣配当などに財政支出す

ることで対処してゆけば、景気循環を何度も経るごとに、長期的には銀行の預金準備率が高まっていき、民間銀行で はなく政府と中央銀行がマネー供給の大部分を占める制度へと、システム改革が実現されていきます。

4

力ある者の意のままで人の明暗が分かれぬ公平な世の中を！

誰もが貧困のリスクなく、かけがえのない自分の人生を自分で自由に選択することに、何度でもチャレンジできるのが、真に自由な世の中です。

特区制度廃止・ベーシックインカム・長期計画の公共インフラ建設

- ・安倍首相をはじめとする権力者の「オトモダチ」のための「成長戦略」（経済特区、民営化、東京五輪、大阪万博、カジノ、法人税のさらなる引き下げ）ではなく、「すべてのひと」のために**金と政治権力を使います**。
- ・政治家や官僚のえこひいきが幅を利かす**経済特区制度はやめにします**。
- ・貧困に苦しむ人の生殺与奪の権限を行政が握る生活保護制度はやめにし、誰もが公平に受けられて、安心して生活できる、**ベーシックインカム制度**を導入します。
- ・まず手始めに、「**デフレ脱却手当**」をすべての日本在住者（一定期間以上居住する人々）に月3万円ずつ配ります。これは、デフレ脱却が確実になるまでの間、日銀の量的緩和マネーをゼロ金利で借りることで資金をまかなうもので、物価が上昇するとともに縮小して、物価上昇率が物価安定目標率に達するとやめるものとします。
- ・次に、高齢者などの年金の一律の基礎的部分を一般会計で支出するものに改め、社会保険 制度を組み替えます。やがてこれとともに、所得税の基礎控除や各種控除、子ども手当、その他各種の給付制度など、事実上の「特定の人々へのベーシックインカム」になっているものを組み替え、全てのひとびとへのベーシックインカムとして統合していきます。障がい者、罹患者等の追加的助けを必要とするひとびとへの給付金を削ることはありません。これらも、物価安定目標の物価上昇率プラス一定率で上昇する仕組みにします。
- ・インフラ建設のための公共事業は、更新投資を中心に必要なものを厳選し、どんな地方でも常に仕事が持続するように長期計画を策定して、若者が安心してこうした仕事に就職して、**しっかりと技術が伝承されるように**します。
- ・次のような事業は、更新投資にかぎらず、新たな建設を行います。若者が安心して住める、**格安の家賃の公営住宅、地方防災系公共事業、保育所、介護施設、医療機関**などです。

【新自由主義がもたらした隷属社会】

以前、細川首相や小泉首相が、「小さな政府」「規制緩和」「民営化」と言った時、期待をよせたみなさんも多かったと思います。そんなみなさんは、そのときいったい何を期待されたでしょうか。今日、周知のように、日本の財政や規制は、安倍首相のオトモダチ連中の食い物にされています。経済特区、規制緩和、民営化、東京五輪は、一部の関係者に利権を発生させています。こんなことを期待されたでしょうか。

みなさんが期待されたのは、古い自民党政治の悪い面を壊すことだったに違いありません。それは、権力者や官僚が、現場の事情も知らずに意のままの判断で民間人に指図し、その結果ひとびとがしばしば理不尽な目にあっても、指図した本人は責任をとらない仕組みでした。こんな仕組みがあると、権力者や官僚の「恩寵」にあずかろうとして、一部の取り巻き既得権集団が形成されるのです。

これを正したいというみなさんの気持ちは間違っていないでした。リスクのあることは、民間人の判断にまかせてほしい。なぜなら民間人の方が現場の情報に通じ、決めたことに自腹で責任がとれるから。政治家や官僚は、あれこれ恣意的な政策や事業をせずに、みんなに公平かつ明確にあてはまるルールを司る役割だけを果たしてほしい。——みなさんが、「小さな政府」「規制緩和」「民営化」という言葉で期待したことは、理屈にするところのことだったのだろうと思います。

ところが小泉改革以来、「小さな政府」「規制緩和」「民営化」と言ってきたこととは、この願いと正反対ではありませんか。「役所が民間企業みたいになるべきだ」というような勘違いの解釈がまかりとおり、自腹で責任をとれないくせに、ブラック企業のワンマン経営者のように、リスクの高い政府事業を意のままに決めるモンスターリーダーが次々と現れました。そのもとにはそんなリーダーを目指すモンスター議員が集まっています。経済特区制度に典型的に見られるように、「規制緩和」自体が、みんなに公平・明瞭に適用されるものではなく、権力者の意のままに適用されるようになっていきます。

「小さな政府」「規制緩和」「民営化」と言ってきた新自由主義の政治家は、「自由」「自由」と言っていました。その実、彼らの「カイカク」のもたらしたものは、たくさんの普通のひとびとが、いろいろなレベルで、権力を持つ人やおカネを持つ人の顔色をうかがい、彼らの好き勝手な判断にふりまわされて、かろうじて生活している隷属社会です。「民間活力」を唱える「ユリノミクス」の歳出削減で、失業が増え社会保障が削減されたならば、ますますこの隷属が蔓延します。もう「カイカク」にはうんざりです!!

【えこひいきを許さない公平クリアな基準を】

私たちは、権力者や官僚の意のままになされる規制には反対ですが、